



公益財団法人 草津市コミュニティ事業団 編集発行

通算 98 冊  
10 月号  
2013

# コミュニティ

市民  
ぷらす  
編集

ひととまちをつくる情報誌

# くさつ



## 住みよいまち草津!?

～地域で育む子どもの未来～

草津市が近畿のトップに!!

東洋経済新報社の『住みよさランキング 2013 ～西日本編』で住みよさNO.1に! でも、住みよさって何でしょう?

そうでないと思っている人は、思いを変えることができるのでしょうか。そんなヒントを探しにまちに出かけてみました。

今回は子育て編です。

### もくじ

- ②つながりがあるから今がある!  
玉川学区子育て応援団玉っこひろば
- ③出会って一緒に何かができるまち  
綾 牧生さん
- ④レゴロボットで仲間づくり  
草津 05 倶楽部
- ⑤俳句散歩「秋」  
市民ふれあい秋まつり in くさつ
- ⑥⑦みんなとめんめん 通算 39 号
- ⑧熊谷栄三郎の徒然草津 第 10 回



イラスト 大村 恵

# つながりがあるから今がある！

「玉川学区子育て応援団 玉っこひろば」

0〜3歳児の親子が季節の遊びやダンスなどを通じて楽しく活動している玉っこひろばさんに、子育てからみる住みよさについて聞いてみました。キーワードは、地域とのコミュニケーションです。

## 最悪だった、あの頃！

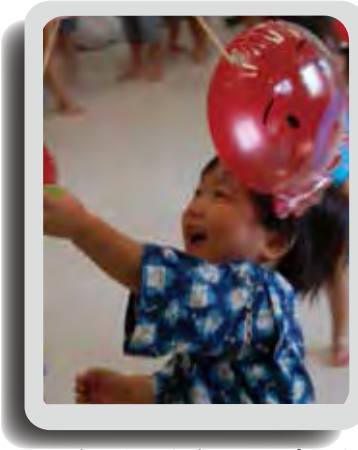
「草津は住みやすい！」と、断言する代表の堀江尚子さん。

「草津に移り住んで子育てをするママにとって、医療機関(施設)の充実、子育てについての悩みや思いを共感できる仲間がいること、そして、まちを熟知している人達との出会いがあったことが、私に『住みよさ』



笑顔が優しい代表 堀江さん

を実感させてくれました。引越してきたのが10年前。その頃の草津って、子育てサークルもママたちの居場所もありませんでした。だつたら自分たちで作ろう！と産婦人科で知り合ったママ友数人が立ち上がりました。目指すは公民館。しかし立ちはだかる壁は高いものでし



たこさんやお魚さんいっぱいだ〜

た。子育て中のママにとって、学区というくりはあまり意識しませんが、学区外在住ということ、当時はなかなか借りることができなかった。辛かったですね。あの頃の駅前の子育て環境は決して良いとは言えなかったです」と、当時を振り返る堀江さん。

「そんな状況下だからこそかな。ママ友のつながりは強かったですね。その頃でした、子育て支援の活動に力を注いでいた団体に出会ったのは。当時代表だった太田加奈子さんには、活動場所やサークル立ち上げのノウハウだけでなく元気やパワーまでも

もらって、少しづつ光が見えてくるようになったのです」

## 『つながり』が原動力に

「何より心強かったのは、新たな活動を始めたいと考えていた頃に、近くに地元の方がいてくれたこと。地域とのパイプ役になってくれたりアドバイスをしてくれたり、温かく見守ってくれました。そして、事業団のひとまちキッリ助成制度や市民センターに、いろいろな形で後押



この子たちも「住みよいまち」築いていくんですね

玉川学区子育て応援団 玉っこひろば  
 子育ての大変な時期を孤独に過ごさず、ママ友や地域の人たちとつながっていきましょう。

- 親子あそびの日 第2・4月曜 10:00～受付
- 赤ちゃん集れ！ 第1・2・3・4金曜  
(第1～3金曜日は事前申込が必要)

活動場所 玉川市民センター 564-0189  
 お問合せ (代表 堀江) 563-2890  
<http://ameblo.jp/tamakko3793/>  
[tamakko\\_3793@yahoo.co.jp](mailto:tamakko_3793@yahoo.co.jp)

ししてもらえたことは、玉っこひろばが少しずつ前進し大きく成長できる原動力となっています」  
 スタッフのママ達も「これからも地域の人たちとのつながりを大切に、子育て応援を続けていきます」と、隣で元気にかけまわる子どもたちを見つめながら『玉っこひろば』の未来を確認しあっていました。  
 壁にぶつかりながらも「草津は住みやすい！」と言い切る堀江さんは、とても明るい素敵な女性。持ち前の明るさと頑張りで、自分から「住みよさ」をつくるうとしたからこそ、素晴らしい出会いやつながりが生まれたのではないかと……。  
 堀江さんの笑顔を見るとそんなことを感じる取材でした。



自然を大切に  
送る綾さん



綾牧生（あやまきお）さんは、母乳で育てる母乳育児の活動や自然を大切にする衣食住の提案をしています。草津に住み始めて10年とのことですが、草津のまちについてお話を伺いました。

# 出会って一緒に何かができるまち

## 子育てのママ同士が

### 話し合える

自然の恵みが感じられるお家だと伺って、早速、訪ねてみました。

お家は、南草津駅から少し離れた山手にある静かな住宅地です。庭には、たくさんのお木々が植えてあって緑でいっぱいですが、周りの住宅と特に変わった様子は？いや、よく見ると庭に雨水タンク、屋根には太陽熱温水器が設置されていました。綾さんが、自然を大切にすることを暮らしたきっかけは、助産院で知り合った先輩ママとのつながりがあったからです。

綾さんは、母乳育児を楽しみましよう、月に1回、市民交流プラザで赤ちゃん和妈妈を対象に母乳育児を楽しむ会「おっぱいっこクラブ」の活動をしています。参加者は、南草津駅前のマンションに住んでいる人が多く、核家族化に加えて近所付き合いも少なく、初めての子育てに不安を感じる人が多いようです。インターネットを見ればたくさん情報があり、どれが良いのか選択に迷ってしまいますが、クラブでは、



おしゃべりに笑顔の花が咲きます

## 綾 牧生さん

ママ同士が会えて、いろんな悩みを話し合ったり、助産師さんからも具体的な相談ができます。いろいろと話してくれる綾さんから、草津のまちに住んでよかったなという思いが伝わってきます。

### 子どもたちに感じてほしい

#### 自然がある

学生時代を大阪で過ごした綾さんにとって、結婚を機にこちらに来た頃は、草津のまちに何か物足りなさを感じていました。まちの良さを実感したのは子育てを始めてからで、必要なものが街でほとんど揃う便利さ、少し行けば田んぼや琵琶湖のある自然が身近に感じられるからです。特に、子どもたちに感じてほしい自然が手を伸ばせば届くところにある。そんな草津の田舎でも

都会でもない環境に満足していません。

そんな綾さんにも、駅の近くにあったらいなというところがあるとか。緑に囲まれた自然がいっぱいの、遊具も何も無い「からっぽの公園」です。「意外と建物の中って子どものいざこざでママたちも疲れてしまうんですよ。外だとママの気持ちものびのびします。子どもたちは、遊具がないから考えて遊ぶ経験ができる、一緒に遊べる友達ができる場所にもなります」と、綾さん。

### 人がつながりやすいまち

クラブでは、どなたも参加でき、母乳、離乳食、遊び場などいろんな話題で話し合え、話が盛り上がりまます。同じ悩みを抱えるママ同士のおしゃべりから安心感が得られるとかで、ここはママの癒しの場になっています。

自然の恵みを大切にす綾さんの周りにはたくさんさんの仲間が集まっています。綾さんは「都会や田舎

に比べて草津はがんばっている人がつながりやすいまち。草津くらいの規模だと出会って一緒に何かができる。仲間たちとこれからますます面白くなっていきそう」と、これからの暮らしを楽しみにしていました。

#### 草津おっぱいっこクラブ

妊婦さん、子育て中の方のための  
育児サークルです

毎月第2金曜日 10:00~12:00

草津市立市民交流プラザ和室

毎回100円(会場・資料代)

問合せ:綾牧生(あやまきお)

090-4278-0396

ayamaki77@yahoo.co.jp

ゆきだ  
とろろを  
見つけたら  
おつかい  
はして  
でけよう



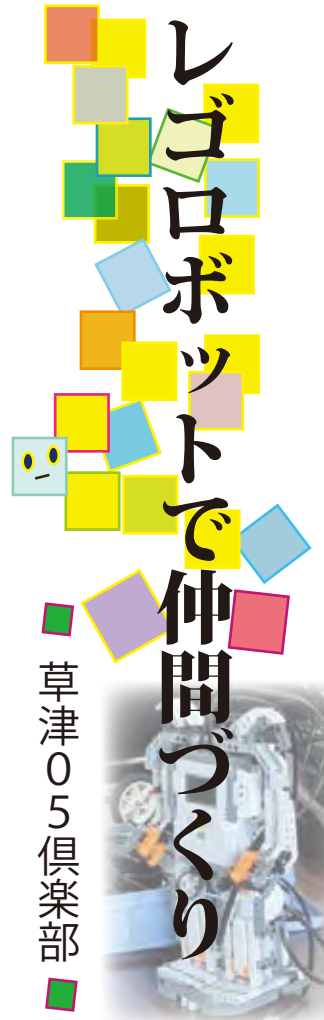
絵・字 中村 明雄



プログラムを入れたPCをのぞきこむ表情は真剣

**根気と集中力を養う**

サークルを主宰する山口里美さんは2児のママ。今も大学の非常勤講師として、コンピューターのプログラミングなどを教える理系女子です。知人からレゴブロックをもらって子どもと遊ぶうち、すっかり夢中に。モー



**草津05倶楽部**

1958年デンマークで生まれたレゴ®ブロックは誰もが知っているおもちゃ。この「レゴ®ブロック」を使って動くロボットや車を作るサークル「草津05倶楽部」がまちづくりセンターで活動を続け、参加した小学生らと子育て真っ最中のお母さん、お父さんが一緒に楽しんでいきます。



さあ、試走だ。プログラム通りに走りますように！

ターなどと組み合わせるプログラムを作れば指示通りに動くレゴのキットがあることを知り、6年

前、レゴを組み立てる作業を通じて知識や技能を高め、仲間同士の交流も深めようと草津05倶楽部を結成しました。「レゴの楽しさはモノを作るという面白さと満足感でしょうね。子どもたちの根気や集中力を養うこともできます」と山口さん。毎月一回、まちづくりセンターで開かれる教室には、市内をはじめ県内や遠く大阪からもブロック好きの親子が集まっています。

**親子で楽しく挑戦**

超音波センサーやカラーセンサーを組み込んだブロックが音や色に反応して思い通りに動くなんとも楽しいブロックたち。プログラムをパソコンに入力していた小学6年山田峻也君は将来、プログラマー志望。「作っているのが楽しい」と言い、付き添いの父、浩次さんは「キットは外国から輸入しています。説明書でわからない英語があっても、子どもたちは創造力豊かに作っていきます」と目を細めていました。

小学4年の奥野智崇君は、幼稚園の頃から電話機やテレビ、CDプレーヤーなどの設定を一人でするほどの機械好き。母の継子さんと一緒に



親子からの質問に応じる山口さん（左）

に山口さんにアドバイスを求めながら試走を繰り返します。継子さんは「子どもと対話が持てるいい場所です」。山口さんは「作りたいモノは何でも作れるのです。本当にやりたいことや興味のあることに対して、子どもたちは能力以上の力を発揮します。ここに集まってきてくれる子どもたちは、私たちが思いもつかないようなアイデアをくれる仲間でもあるのです」と話し、子どもたちの質問に楽しそうに応えていました。

パソコンを見つめる子どもに寄り添って、自分の少年時代とダブらせて目を輝かせるお父さん、一緒に首をひねるお母さんの姿も。小さなブロックをはさんだ親子のこのふれあいが、草津の「住みよさ」を生み出す一つになっているのだらうと、ふと、思いました。

レゴ  
**草津05倶楽部**

毎月第4土曜日(原則)  
9:30~12:30  
草津市立まちづくりセンター  
小中学生とその両親  
子ども一人500円(参加費)  
kusatsu05@mail.goo.ne.jp  
<http://blog.goo.ne.jp/kusatsu05/>



前例のない酷暑だ、猛暑だと騒いだ今年の夏もようやく退散し、秋の気配が漂って来ました。食欲の秋、文化の秋、スポーツの秋と沢山枕言葉が付く秋ですが、今日は物思う秋の俳句を読んでみましょう。(橋詰 辰夫)

シヤレを好み、人々に親しまれた俳諧の祖・山崎宗鑑。宗鑑さん生誕の地である草津では毎年、宗鑑忌俳句大会も開かれる俳句ゆかりの地。先人たちが五・七・五に込めた思いや句の背景を知れば、グッと深まる言葉たち。そんなゼイタクな時間を届ける「俳句散歩」をどうぞ。

翹雲

人に告ぐべき ことならず

加藤楸邨

加藤楸邨は1905年(明治38年)に東京で生まれ、少年期を石川県で過ごしました。関東で大学卒業後、教職に就きながら俳句を作った俳人です。

彼は人の内面心理を詠み、人間探究派と言われました。翹雲は秋の空を代表する雲で、形によって鱗雲とか鯖雲と言われる巻積雲のことです。

楸邨は煩雑な都会の中で翹雲を見上げて物思いに耽つています。あることで一言も二言も言いたいのですが、翹雲を打ち仰いでよくよく考え「いや、これは俺の胸の内に収めて置くべきだ」と決心したようです。翹雲のスケールに比べれば人間の思いなんか小さく見えてきたのでしよう。

私も海外勤務を終えて帰国したときに「帰り来て 天の半分 翹雲」

と作句し、やれやれ帰って来たかと溜息をついたものです。

空に浮かぶ雲を見て、皆さんも行く秋を哲学してください。

因みに、楸はヒサギと言いアカメガシワのことで、邨は村と同意語です。



\*アカメガシワ：トウダイグサ科の落葉高木。新芽が紅色

市民ふれあい秋まつり in くさつ

平成25年11月16日(土) 10:00~16:00

参加無料

「文化や芸術」、「福祉やボランティア活動」、「市民活動」を見て・触れて・体験して。今日の市役所は、いつもと一味違う!まずは、体感してみてください。新しいあなたを発見するかも!

×「パワフル交流・市民の日」

パネル展示・体験コーナー

ステージ発表・模擬店

問合せ：(公財)草津市コミュニティ事業団

565-0477

com-com@mx.biwa.ne.jp

×「福祉を考える市民のつどい」

社会福祉功労者等表彰式典

地域福祉活動紹介・体験コーナー

問合せ：(社福)草津市社会福祉協議会

562-0084

kusatsu@shakyo.info

将来は、ボランティア活動や人の助けになるようなことができる大人になりたい  
(中学生)  
★昨年アンケートより

×「お宝ゲット チャリティオークション&バザー」

川本勇さん・ファミリーレストランがくるよ

問合せ：草津ライオンズクラブ 564-4144

×講演会「阪神・淡路大震災の体験談と住まいの耐震への備え」

講師：米山 正幸さん (北淡震災記念公園)

野島断層保存館 副館長)

問合せ：草津市役所建築課 561-2378

×「くさつ市民アート・フェスタ2013」

11月16日(土)、17日(日) 両日開催

草津アマカホール、道灌蔵、出会いのひろば

草津夢本陣イベント広場

問合せ：くさつ市民アート・フェスタ実行委員会事務局

561-2427

shogaku@city.kusatsu.lg.jp

×セミナー 男女共同参画が見えるまちづくり

「変わるの、今 -草津市男女共同参画

推進条例ができて4年が経ち・・・」

講師：二宮 周平さん (立命館大学法学部教授)

問合せ：草津市立人権センター(男女共同参画担当)

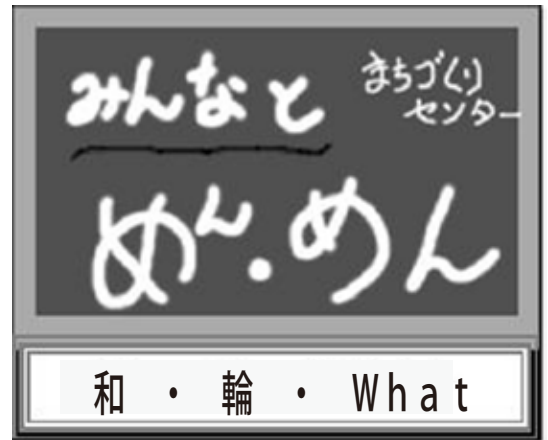
565-1550



まちづくりセンター運営協議会の情報紙「みんなとめんめん」が、前回の38号から本誌と合わさり、より多くの草津市民の皆さんに、その取り組みや団体の活動を紹介させていただくことになりました。

運営協議会は、全体会の他、施設・研修・情報の3つの部会に分かれて、まちづくりセンターや『まち』のことを考えながら、みんなで汗を流して、一歩ずつ成長しています。

次回のNo.40(12月号)から市民の皆さんに『ちょっと知っていただきたいような情報』や『ホッとするような情報』をお伝えしたいと思います。



井戸端会議という言葉が聞けなくなった。確かに上水道が整備されて井戸を見かけない。井戸端や水辺は、人間を含めた色々な生き物達が集い、時には争いごともあったが、楽しく交流する場所であったのだろう。井戸水は、夏は冷たく気持ちが良い、よくスイカを冷やしたりもした。反対に冬は暖かく顔を洗ってホッとしたものだ。井戸端には、なつかしい思い出がいっぱい詰まっております、正に「オアシス」であった。

草津のまちは便利で、流入人口も増えている。まちのあちらこちらにホッとできる「オアシス」があると、住み続けたいまちになるであろう。まちづくりセンターはそんな井戸端の一つとして、ふるさとの楽しい思い出を伝えていきたい。



まちづくりセンター 運営協議会  
副代表 鈴木道弘さん

伝えよう！ふるさとの  
楽しい思い出

## しっかり 静かに咲いている まちセン活動

ウメバチソウ



草津エコー 杉尾尚子

## 私たちに出来ること

～琵琶湖の生態系を守るために～



まちづくりセンターにて、まちづくりセンター運営協議会研修部会主催「いろは講座」が9月11日開催されました。今年のテーマは「びわ湖の生態系 変えたのは誰？」ということで、県と市の職員の方を講師に迎え、外来種生物による影響について学びました。

人に危害を加えるアライグマ・セアカゴケグモが草津市で見つかっています。「目撃したら環境課に通報し駆除してもらおう」、琵琶湖のブラックバスのように「釣っても琵琶湖にリリースしない」という行動を地道に繰り返さなければ大繁殖につながり、いずれ在来種の生態系をおびやかす、



私達の日常にも影響を及ぼします。市民ひとりひとりの日頃の心がけの重要性について知るいい機会となりました。



# まちセンの仲間を紹介します

## ● あゆみ会 ●

書の研鑽と会員相互の和を大切に、発足以来29年余りの年月をさまざまな足跡を残しながら歩んでいます。登録団体の活動としては、まちづくりセンター館内の利用案内をはじめ、周年イベントや学習会の看板・横断幕を制作し、来館者に好評をいただいています。



また、ふらっとサロンにおいて年1回書展を開催しており、先生の熱心な指導で楽しく取り組んでいます。是非一度お越しください。

書（漢字・かな・創作・硬筆）

時間：月3回 第1・3・4週の火曜日

13:00～15:30

場所：まちづくりセンター2F

## ● キャロット・なでしこ ●

手編みをみんなで楽しむ教室で、セーターやベスト、小物など自分だけの作品を作っています。ふらっとサロンでの展示や、周年イベントにも参加していますが、その際に毛糸で作ったアクリルたわしの推進も行っています。アクリルたわしは、洗剤を使わなくても食器などの汚れが落ちるため、地球にやさしいエコなたわしです。琵琶湖に流れ込む排水も洗剤で汚れないため水環境にもやさしい。私たち楽しい仲間と一緒に編みながら、おしゃべりして、ほっこりした時間を過ごしませんか。



時間：月3回 火曜日 13:00～16:00

場所：まちづくりセンター2F

## ● ゆうネットくさつサポーターの会 ●

本会は草津市の生涯学習課と協働で、ゆうゆうびとバンクに登録された方々の活動をサポートする活動を行っています。毎年、講座を開く希望のある方を募集し、講座開設の場所や日程の調整、受講者募集のお知らせ、講座運用の支援など行い、各講座の活動内容を年に4回の機関紙「ゆうネットくさつ」で紹介しております。ゆうゆうびとバンクには芸術からスポーツや学術に至る幅広い分野の特技を持った方々が登録されています。その方々の活動を支援し、生涯学習の場を少しでも多くの方々に提供したいという思いで活動しています。サポーターの会への参加者も募集していますので、よろしくお願いします。



## ● 花架拳(かかけん) ●



今年で14年目を迎える花架拳教室は、まちづくりセンターの周年イベントや市のイベントなどに積極的に参加しています。

癒しの音楽に合わせて、ゆっくりと呼吸しながら中国武術の型を花のように舞う、とても優雅でやさしい動きです。

初心者はもちろん、運動の苦手な方や足腰を痛めている方でも、マイペースで楽しめます。

気持ちはさわやかに、代謝が高まり、むくみや冷えも解消し健康促進にもなります。扇を持って楽しむ「花扇功」も練習しています。

無料体験できます！ お待ちしています！

時間：月3回 第1・2・4月曜日

14:00～15:30

場所：まちづくりセンター2F

熊谷栄三郎の

徒然  
草津  
つれづれくさつ

第10回

白、黒、白、黒……

熊谷栄三郎

草津が近畿百十一市の中でいちばん住みやすいまち、との統計結果が出たという。人口当たりの老人福祉施設数や公園面積、地方税収入などを参考に順位を算出するらしい。昨年は芦屋が一位で草津は五位だったとか。

ウソみたいな話やな、と思いつつ草津駅の階段を上がっているとき、ウソみたいなホントの出来事が進行していた。

一段上がるたび、足元に白靴、黒靴、白靴、黒靴と交互に出てくるではないか。あつ。自分の足！左足にほぼ白色の、右足に真っ黒色の靴を履いて階段を踏んでいる。京都へ行くのに、あわてて履き違えて出てきたのだ。家へ引き返す時間なし。

ラッシュ後だったせいとか、四人掛けの席を独占できたため、他人に足元を見られずに山科駅に到着した。こんなに都合のいい電車に乗れたのは、住みよい草津のおかげかも、と心の中で冗談をいいつつ地下鉄山科駅へ。

地下ホームに車両が入ってきた。空席だらけ。座りたいが、座れば

白、黒の靴が丸見えになる。やむを得ず、ドアを入ったすぐそこで、足元を見られないようにして立ったおや、向こうの入り口にも立ち尽くしている中年男がいる。「ははーん、彼も」と察して盗み見すると、靴はちゃんと履いていた。

京都で仲間に笑い物にされたのはいいとして、帰途の電車が難問。熟慮し、京都駅からわざと超満員の電車に乗り込んだ。客たちは天井を見ている。かつ有り難いことに、足元に大きなスポーツバッグがあった。左足をその下に潜り込ませて万全の構えとなった。

そのバッグが石山駅で学生と共に降りてしまったのはあわてた。でも草津駅まではなお満員状態。いつもはこれが腹立たしいのに、今日はい

れしい。大勢に紛れて降りた。もっと先の駅まで帰るのがいたら、大恥をかいただろう。がら空きになった電車をうれしく見送った。



## 編集後記



「スポーツの秋・食欲の秋・読書の秋」四季がある中、「〇〇の秋」という言葉は数多く存在します。暑い夏、いろんなことでパワーを使いきり心身ともに疲れ気味のなか、秋の訪れは「ほっこり」した気持ちにしてくれます。

唐の文人の詩に『燈火(とうか)親しむべし』(秋の夜は涼しく灯りで読書をするにはもってこいの意)という一節があります。部屋の窓を開け、心地よい風を感じ虫の声を聴きながら読書に親しむ。穏やかな時間の流れを感じる至福の瞬間です。読書だけでなく絵を描いたり音楽を聞いたり編み物をしたりなど心穏やかにそれぞれの趣味に時間を費やすのもひとつですね。静かな空間に身をおくと日ごろ考えないようなことが頭をよぎります。この機会に「住みよさ」について自分なりに検証してみるのはいかがでしょうか。「住みよさのキーワード」見つけられる「秋」になるかも知れません。(F)

発行/ (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課  
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町9-6

まちづくりセンター内

TEL/077-565-0477 FAX/077-562-9340

MAIL/com-com@mx.biwa.ne.jp URL/http://kusatsu.or.jp

## イベント情報

☆アール・ブリュット写真展 澤田真一さんの世界

10月5日(土)～10月15日(火)

なごみの郷 TEL568-4753

10月18日(金)～10月29日(火)

まちづくりセンター TEL562-9240

☆南草津駅前広場イルミネーション点灯式

11月10日(日) 17:00 点灯式

南草津駅西口東山道記念公園

☆落ち葉プール

12月1日(日)～2月28日(金)

ロクハ公園室内幼児プール TEL564-3838

## 市民編集ボランティア募集

コミュニティくさつの取材や編集をおこなっていただく市民編集ボランティアを随時募集します。草津市民の方ならどなたでも応募いただけます。(公財)草津市コミュニティ事業団まちづくり振興課までお気軽にお問い合わせください。

